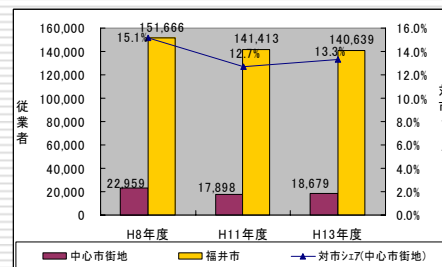
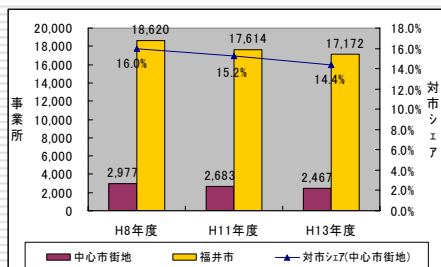


2. 産業

図2-1 中心市街地の事業所数は減少している

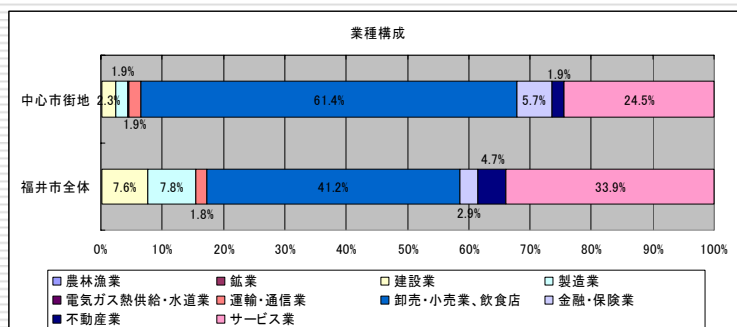
- 中心市街地の事業所数は、平成13年度には、平成11年度よりも約350事業所(約10%)減少している。
- 対市シェア(福井市全体に占める割合)も15.2%(平成11年度)から14.4%(平成13年度)と、0.8ポイント減少している。
- また、従業員数は平成13年度には、平成11年度よりも4%増加している。



(出典: 事業所統計調査)

図2-2 中心市街地における業種構成

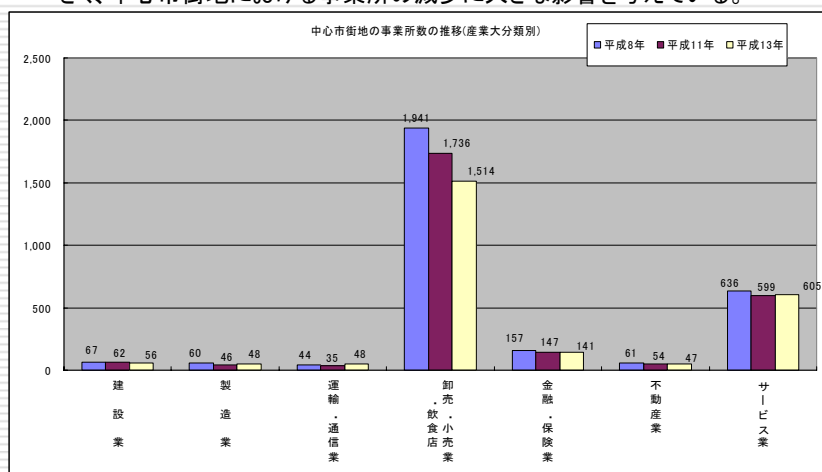
- 中心市街地では卸売・小売業、飲食店、金融・保険業の割合が相対的に高く、中心市街地特有の業種構成となっている。



(出典:事業所統計調査)

図2-3 業種ごとの事業所数の推移

- 卸売・小売業・飲食店の事業所数が最も多いが、特にこの業種の減少が大きく、中心市街地における事業所の減少に大きな影響を与えている。



(出典:事業所統計調査)

□ 考察(産業)

- ・中心市街地における事業所数が減少しており、特に、卸売・小売業、飲食店の減少が大きく影響している。
 - ・卸売・小売業、飲食店以外に、金融保険業、不動産業など都心立地を志向する業種の減少がみられることから、今後これらの対応が必要と考えられる。
-